

木暮人連続セミナー

こぐれびと

森と木が育む健やかな暮らし

2017年5月～10月 全6回シリーズ

Creative commons. Some rights reserved. (c)私の森.jp写真部

■セミナー概要

私たちは生まれた瞬間から、不自然な環境や製品・食品に囲まれ、それらがアレルギー・アトピー・シックハウス・シックスクール・ストレス由来の体調不良や疾患などの原因といわれます。

これらの問題を解決していくには、

「不自然から自然の暮らし方」にシフトし、健やかな身体、体力向上・免疫力改善・自然治癒力を身に着けていくことが大切となっています。

「自然の暮らし方」を、先人の知恵や自然そのものから学ぶんでいくことは重要です。

本連続セミナーは、先人の知恵や自然に添う生き方を模索、実践している「木暮人」な人々との対話から、健やかに生きる暮らしのヒントを探ることを目的として行います。

森林医学や森林セラピー。化学物質の問題。食や空気環境。自然素材である木や木材の可能性など。多様な視点から私たちの健康について、みなさんと考えていきましょう。

■参加費：資料代として1,000円

■申し込み方法

メール infom@kogurebito.jp 電話：03-6274-6575

■会場 東京都中央区銀座7-4-12

銀座メディカルビル9階(旧ぎょうせいビル)セミナールーム
東京メトロ銀座駅C3出口
東京メトロ新橋駅5番出口



主催：当該セミナーに関するお問い合わせ先

■一般社団法人木暮人倶楽部

木暮人倶楽部は、素晴らしい日本の木の文化と天然志向の木の良さを社会にアピールすることで木のファンを増やし、林業の健全な発展と木とともに、暮らしに良い環境の醸成や森林の保全及び育成に寄与する事を目的に設立されました。

住所：〒104-0061 東京都中央区銀座7-4-12

銀座メディカルビル9階

Mail: infom@kogurebito.jp TEL: 03-6274-6575

FAX: 03-6274-6422 サイト: <http://www.kogurebito.jp>

共催

■「デジタルハリウッド大学院吉田就彦研究室森林・林業研究部会」



■6回シリーズ スケジュール

【第一部3回 森の恵みを暮らしに活かそう】

① 5/20 (土) 14:00～16:00

「都会から移住して森に棲む理由
～神奈川から八ヶ岳へ」

畠中 実 森のすまい工房 (有)アシスト

② 6/17 (土) 14:00～16:00

「木の家が気持ち良いわけ

目から鱗の木材の話。葉枯らし天然乾燥って何？」

榊原 康久 天竜TSドライシステム

落合 俊也 森林環境建築研究所

③ 7/15 (土) 14:00～16:00

「日本の森とあなたの健康・生かすも殺すも鹿次第」

三浦 妃己郎 NPO もりずむ

【第二部3回 人にやさしい木材・素材のはなし】

④ 8/26 (土) 14:00～16:00

「杉の力がシックハウス・過敏症・発達障害に有効」

藤田 佐枝子 ホームアイ

⑤ 9/16 (土) 14:00～16:00

「ここでしか聞けない左官自然素材の話」

福田 正伸 漆喰九一

⑥ 10/21 (土) 14:00～16:00

「森そして杉と微生物の素敵な関係

腸内環境だけではない。住環境の微生物が大切」

上利 智子 天音堂

登山家・医学博士の今井通子さんからのメッセージ

木暮人倶楽部総会記念講演より 2017年3月25日

世界の名峰を登ってきた、登山家で医学博士の今井通子さんは、次のように語られました。

私たちは、大気汚染、食品添加物、化学物質、化学製品そして放射能等不自然なものから、簡単に逃げる事は出来ない。

だからこそ、それらを跳ね返す、生き物としての野生の力。そして免疫・自然治癒力を身につける事が大切と。

登山やマラソンは誰もがもつ「野生の力」を引き出してくれ、豊かな自然の森林のチカラ、多様性、そして光・音・清浄で新鮮な空気こそが何より健康に大切なものであるということ。

今井さんの原点は、医者であったご両親が子供の時から、休みに必ず海や山で過ごし、そのくらしの習慣が、世界の山にも挑戦できる自分の健康を養ってくれていた。という経験を振り返られました。



★★★準備の都合上、内容日程場所など変更する場合がありますことをご容赦願います。★★★

「都会から移住して森に棲む理由 ～神奈川からハヶ岳へ」

畠中 実 森のすまい工房 (有)アシスト代表

2017年5月20日 土曜日 14:00～16:00

@ 銀座メディカルビル9階(旧ぎょうせいビル)

■ 参加費:1,000円

畠中さんからのメッセージ

あふれる情報、様々なサービスが行き届いている都会生活には多くの人が憧れ人口の大半が大都会に集中しています。そんな便利な都会生活から敢えて離れ、不便な森の中に暮らすことは、現代社会が抱える様々な問題が自然と見えてきます。便利で効率的な現代社会は、人間が本来備えている五感という感性を奪い自分の価値観を見失いがちになっています。人工的な環境は目に見えないストレスとなって、精神的な不安や負担を強めています。近年、森林セラピーは、ストレス克服に有効と医学的な実証研究が進んでいます。木と共に暮らす＝木暮人は、現代における健やかで、新しい暮らし方の提案です。前半は移住決断からの仕事と森の暮らしの成功失敗談。後半は、森林共生の提唱者 落合俊也さんとの対談、参加者からの質問や、ディスカッション等で楽しい時間を過ごしましょう。

後半の対談は(株)森林・環境建築研究所 代表
落合俊也さん

森林共生住宅を提唱する落合俊也氏は、日本の木造住宅建築の第一人者の杉坂智男氏の継承者として木造技術や温熱環境、そして木材の力を究極的に追及する一方、森林資源を予防医学としてとらえる可能性として、森林環境を住宅環境へ写し取ることを探究しています。森林セラピーの実践者、提唱者でもある落合さんの森の話は、目から鱗です。



案内人は木暮人の達人：畠中実さん

森のすまい工房 有限会社アシスト代表取締役

- ・1955年生まれ61歳。高知県出身
- ・1978年日本大学理工学部建築学科卒業後、日本空港ビルデング株式会社に入社
- 成田空港開港に伴う関連施設の建築、羽田空港旅客ターミナルビルデングの沖合移転プロジェクトに従事
- ・1989年同社を退社しハヶ岳に移住、(有)自然工房に入社、ログハウス建築に携わる
- ・2001年独立。森のすまい工房(有)アシスト設立。
- ハヶ岳周辺に約140棟のログハウス・木造住宅を建築
- ・同じ頃、外国産材でのログハウス建築に疑問を持つようになり、葉枯らし乾燥した天竜杉の林業家。榊原正三氏と出会い葉枯らし天竜杉に全面的に移行。
- ・2003年ベストセラー「木とつきあう智慧」の著者、オーストリアの林業家エルヴィントーマ氏の来日公演を機に、月齢伐採の優れた木材生産の技術取得に努める榊原氏と、月齢伐採・葉枯らし乾燥材を用いたログハウス・木造住宅の建築を手掛ける。



ファシリテータ 上利智子から 天音堂(あまねどう)

畠中さんは、真面目を絵に描いたような誠実な方ですが、一方強い信念をもった、義理人情にも篤い方です。人の前に出られる方ではありませんが、その信念と、「森や木、そして建築」に対する情熱の熱さは、誰にも負けないものを持っています。都会の生活を捨てての森の移住への決断。そして田舎での生活を軌道に乗せるまでは、測り知れないご苦労があったのだと思います。移住の決断。なぜログハウスなのか。など等がみなさんの暮らしのヒント・元気につながるでしょう。

次回予告

「木の家が気持ち良いわけ。目から鱗の木材の話。葉枯らし天然乾燥って何？」

6/17(土) 14:00～16:00 銀座メディカルビル9階(旧ぎょうせいビル) セミナールーム

榊原康久 天竜TSドライシステムと 落合俊也 森林環境建築研究所

これからの住環境・そして健康な暮らしに必須の天然乾燥杉の話をじっくりお伝えいたします。